

製品名: Dlx-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10027**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	DLX3
別名	DLX3; Homeobox protein DLX-3
遺伝子 ID	1747.0
SwissProt ID	O60479
免疫原	抗血清はヒト DLX3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

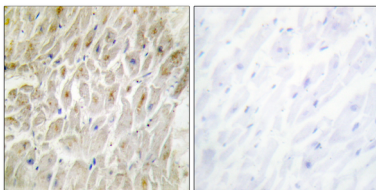
ショウジョウバエの発生遺伝子との配列相同性に基づき、多くの脊椎動物のホメオボックス含有遺伝子が同定されています。Dlx 遺伝子ファミリーのメンバーは、発生中のショウジョウバエの頭部と四肢で発現する遺伝子である Distal-less (Dll) のホメオボックスと

関連するホメオボックスを有しています。Distal-less (Dlx) 遺伝子ファミリーは、DLX1～DLX6の少なくとも6つの異なるメンバーで構成されています。常染色体優性疾患である毛状歯骨症候群 (TDO) は、DLX3 遺伝子の変異と相関関係にあります。この遺伝子は、17番染色体長腕において、遺伝子ファミリーの他のメンバーと尾と尾を繋いだ配置で位置しています。この遺伝子の変異は、常染色体優性疾患である毛状歯骨症候群や、タウロドント症を伴う歯冠形成不全症と関連しています。 [RefSeq 提供、2008年7月],疾患: DLX3 遺伝子の欠陥は、毛髪歯牙症候群 (TDO) [MIM:190320]の原因です。TDO は、エナメル質形成不全と低石灰化を特徴とする常染色体優性症候群で、著しく縮れた毛髪を伴います。 ,疾患: DLX3 遺伝子の欠陥は、エナメル質形成不全症 4 型 (AI4) [MIM:104510]の原因です。AI4 は、タウロドント症を伴うエナメル質形成不全症低成熟・低形成型としても知られています。AI4 は、歯髓腔の拡大を伴うエナメル質形成の常染色体優性欠陥です。 ,機能: 腹側前脳の発達において調節的な役割を果たしていると考えられます。頭蓋顔面のパターン形成および形態形成に役割を果たす可能性がある。 ,類似性:遠位レスホメオボックスファミリーに属します。 ,類似性:1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。 ,

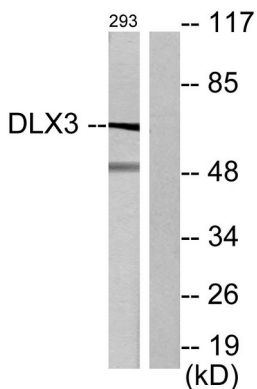
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

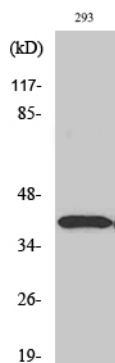
画像データ



DLX3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DLX3 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Dlx-3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。

